

免許状教科	中学校1種(社会)・高等学校1種(地理歴史・公民・商業)		
科目名	生徒指導及び進路指導の理論と方法	科目分類	教職科目
			経済学科 ■必修 □選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Theory and Methods of Guidance and Counseling	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
ふりがな	いちばら みつまさ	修得単位	2単位
担当者名	市原光匡	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用
授業のテーマ	児童・生徒の生きる力の獲得を可能とし、将来の人生設計に資する指導のあり方を探る。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒指導の意義や原理を理解し、説明できること。</li> <li>2. すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解し、説明できること。</li> <li>3. 児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解し、説明できること。</li> <li>4. 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解し、説明できること。</li> <li>5. 全ての児童及び生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方を理解し、説明できること。</li> <li>6. 児童及び生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解し、説明できること</li> </ol>		
授業概要	<p>教育の現場では、発達の段階に応じたキャリア教育が行われている。他方、発達の各段階におけるさまざまな問題行動も発生し、その対応も求められている。授業ではその動向をふまえ、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。さらに、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身につける。</p>		
授業計画			
第1回	ガイダンス		
第2回	生徒指導とは？		
第3回	学校教育における生徒指導		
第4回	生徒指導の基礎／①人間形成の要因		
第5回	生徒指導の基礎／②青少年の発達段階と特性・人格形成と生徒指導		
第6回	生徒指導の歴史的展開		
第7回	生徒指導の方法		
第8回	生徒指導と教育相談		
第9回	生徒指導と学習指導		
第10回	生徒指導と学級経営		
第11回	進路指導と生徒指導		
第12回	進路指導の歴史的展開と現状・課題		
第13回	進路指導の方法		
第14回	キャリア教育の意義と内容・方法		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
授業時間外の	授業の予習として、戦後日本の教育史をふまえておくこと(1.5時間程度)。また授業各回の復習として、		

学習	青少年の発達段階・発達課題を理解しておくこと（1.5時間程度）。
履修条件 受講のルール	特になし。
テキスト	テキストは特に指定しない。なお、授業のレジュメ（要約）のプリントを配布する。
参考文献・資料	文部科学省『生徒指導提要』
成績評価の方法	平常点 30%、定期試験 70%の比率で評価する。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日 9:00～10:30・金曜日 13:00～14:30
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生への メッセージ	教師を志望する学生であれば、必ずふまえていなければならない領域である。児童・生徒との関係を維持し、適切に生徒指導・進路指導ができるよう、人間力も磨く必要がある。